

# Sensing eye

電気抵抗率計 / 伝導率計  
Sensing eye 737 / 738  
クイックマニュアル

## はじめにお読みください

ご使用前に「1.安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

### 1. 安全上のご注意

#### 警告

- 配線作業は、電源を切った状態で行ってください。感電・ショートのおそれがあります。
- 本体を水に浸さないでください。火災や感電のおそれがあります。
- ぬれた手で取扱わないでください。火災や感電、漏電の原因となります。
- 本説明書に記載のない修理、改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。
- 通電中は電源端子に触れないでください。感電のおそれがあります。

#### 注意

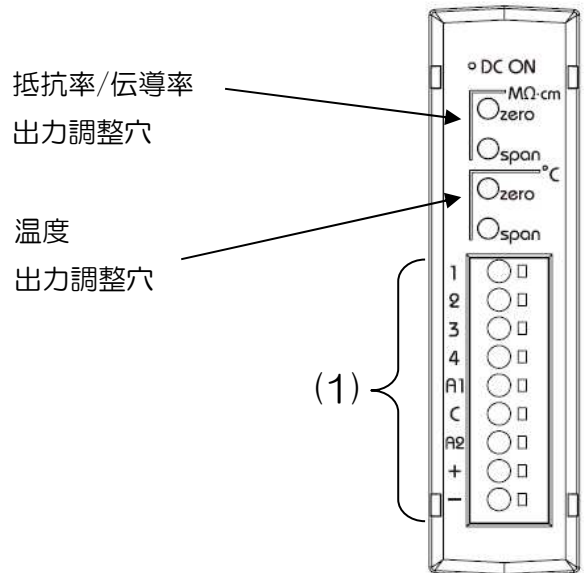
- 間違った配線で使用しないでください。機器破損の原因となります。
- 本体に衝撃が加わり、損傷したら使用しないでください。変形・破損により、事故やけがのおそれがあります。

### 2. 使用方法

#### 2-1 設置

- 高圧機器を設置している盤への取り付けは避けてください。
- 動力線から 300mm 以上離してください。

#### 2-2 配線

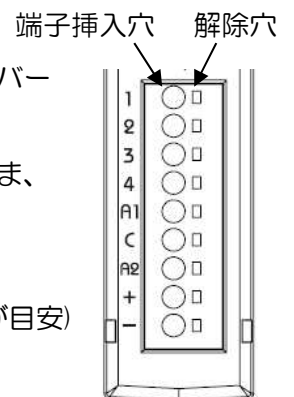


#### (1) 7770 センサー接続・配線

- 1 CELL-1(赤)
- 2 CELL-2(黒)
- 3 CELL-3(白)
- 4 CELL-4(黒[太])
- A1 4-20mA(水質) OUT+
- C 4-20mA(共通) OUT-
- A2 4-20mA(水温) OUT+
- + 電源 DC24V +
- 電源 DC24V -

#### ※配線方法

- ① 解除穴にマイナスドライバーを挿入します。
- ② ドライバーを挿入したまま、端子挿入穴にケーブルを挿入します。  
(電線むき長さは 7mm が目安)
- ③ ドライバーを外します。



- 配線は 737、738 共通です。
- センサーの電線を本体のセンサー端子台に番号を合わせて接続します。
- 直流 24V 電源を本体の電源端子台に十と一の極性を間違わないように接続します。
- 本体の 4-20mA 端子台に十と一の極性を間違わないように配線します。

### 2-3 配線時の諸注意

- 電線の先端を予備はんだしないでください。正しい接続ができなくなります
- センサーケーブルは他の電力線といっしょに束ねないでください。
- 4-20mA の配線は 2 芯シールド線を使用し、シールドは他の機器で接地してください。

### 2-4 測定

電源を入れると、水質に応じた電流を出力します。抵抗率が  $20\text{M}\Omega\cdot\text{cm}$  を超える場合、約  $21.0\text{mA}$  で飽和します。また、抵抗率レンジにてセンサーが水につかっている時には  $20\text{M}\Omega\cdot\text{cm}$  以上になることがありますのでご注意ください。

### 3. 調整

工場出荷時に調整していますが、調整が必要な場合は下記に従ってください。

- センサーを接続して通水し、測定値が安定していることを確認します。
- 他の基準となる計器で、測定した値と同じになるように調整穴よりプラスドライバーを入れ、中のボリュームで微調整します。

水質調整時は [抵抗率/伝導率出力調整穴]、水温調整時は [温度出力調整穴] を調整します。[ZERO] で  $4\text{mA}$  を [SPAN] で最大値の調整を行うことができます。

### 4. センサー使用上の注意

- 金属配管に使用した場合、設置環境によっては測定値が影響を受ける可能性があります。
- 連続測定時、測定水質により電極に汚れが付着して実際の伝導率値より低い値を示す場合があります。定期的に電極の洗浄を行ってください。
- センサーは気泡が付きにくい方向で取り付けてください。測定値に影響が出ることがあります。
- 締め付けトルクは  $10\text{N}\cdot\text{m}$  ( $100\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) 以下にしてください。
- センサーは Oリングシートにも対応できるように基準径の位置を管用テーパネジよりも奥に設定しています。配管にねじ込む際はシールテープを多めに巻き、しっかりねじ込んでください。

製品に関するお問い合わせ先

TEL : 0120-8724-01

URL : <http://sensingeye.jp>